

堀越孝一の本

堀越孝一の歴史の作法——

「資料を、現在の目ではなく、書かれた時代的コンテキストにおいて読む」姿勢の言挙げと、その作法の実践編、そして、堀越ブシ炸裂の「最終講義」を収録！



「……心を奪われるのは、飽くまで一言一句にこだわりながら、中世後期のテクストと直接対峙した堀越の、その時々々の思考の発露が現れているからではないだろうか」
(小澤美氏「図書新聞」2020.2.22)

中世ヨーロッパの精神

四六判512ページ/本体3,000円+税 978-4-86582-037-9



詩人は15世紀のパリを照射し、歴史家は時代の空気を今に伝える——膨大な史料考証により響きさえも磨き抜いたヴィオン詩作品の全訳。「学究肌を併せ持つ芸術家肌の人物の三十年に及ぶ仕事の精髄」(田桐正彦氏「図書新聞」2016.8.27)

ヴィオン遺言詩集

——形見分けの歌・遺言の歌

四六判414ページ/本体2,800円+税
978-4-86582-011-9



アーサー王物語や聖杯伝説の主役となった騎士たち。リチャード獅子心王にサラディン、シャルルマーニュやエル・シド、エドワード黒太子など、綺羅星のような人物群像。騎士と騎士道文化をあますところなく紹介。佐藤賢一氏推薦！

騎士道百科図鑑

シャード[監修]堀越孝一[日本語版監修]
B4変形判カラー304ページ/本体9,500円+税
978-4-903487-43-4



彷徨える青春時代の、師(マギステル)たちとの出会いと別れ、さまざまな知の遍歴をつまびらかにしながら、中世世界とヴィオンを探る。歴史と文学とのせめぎあい——

放浪学生(ヴァガントース)のヨーロッパ中世

四六判480ページ/本体3,000円+税
978-4-86582-032-4



アペラールとエロイズの恋の道行き、「カルミナ・ブラーナ」の放浪学生、トゥルバドゥールの女王アリエノール・ダキテーヌ、聖女ジャンヌ・ダルクに無頼詩人ヴィオン。歴史の舞台を彩った有名無名の青春群像を、みずみずしい筆致で臨場感ゆたかに描く。

人間のヨーロッパ中世

四六判544ページ/本体3,000円+税
978-4-903487-56-4

目次

- 第I部 「中世の精神」
 1. 中世ナチュラリズムの問題——近代以前の記述資料について
 2. 中世叙事詩における騎士道——ひとつの方法論的陳述
 3. 後期ゴシックの世界
 4. 過去への想像力——記述＝歴史空間の発見
 5. 記録と現実——アントニオ・モロシーニの『年代記』について
 6. ルネサンス問題のいま
 7. 「スウェーデン女王祓書一九二三番写本」の筆者について
 8. 日記の読みかたについて——渡辺一夫先生にお答えする
- 第I部あとがき
- 第II部 ヴィオン遺言詩注釈
 - 『遺言詩集』151節から174節まで
 - エロイズ文について
 - 堀越教授の最終講義
 - 詩と歴史：歌は世に連れ、世は歌に連れ(2014年1月20日、日本大学文理学部における「最後の授業」 レジュメ)

堀越孝一先生と日本大学時代の想い出
——あとがきに代えて(森ありさ)

お名前

中世ヨーロッパの精神

978-4-86582-037-9

書店番線印

部

お電話番号

ヴィオン遺言詩集

978-4-86582-011-9

部

ご住所(お届け先)

放浪学生のヨーロッパ中世

978-4-86582-032-4

部

〒

人間のヨーロッパ中世

978-4-903487-56-4

ご担当者様

騎士道百科事典

978-4-903487-43-4

部



〒113-0033 東京都文京区本郷 3-37-3-303
http://www.yushokan.co.jp/ TEL 03-3812-6504

FAX 03-3812-7504

堀越孝一(ほりこし・こういち)

学習院大学名誉教授。著書に『中世ヨーロッパの歴史』『中世の秋の画家たち』『ヴィヨン遺言詩集』I～IV、『人間のヨーロッパ中世』『放浪学生のヨーロッパ中世』など。翻訳書にホイジンガ『中世の秋』『朝の影のなかに』、G.オーデン『西洋騎士道事典』、C.B.ブシャー『騎士道百科図鑑』、『ヴィヨン遺言詩集』ワリの住人の日記』～IIIなど。2018年9月8日没

中世英文学のなかでひととき
屹立する大詩人ジェフリー・
チョーサー晩年の韻
文物語集『カンタベリ物語』
の最新邦訳版。中世英
文学の泰斗の監修のもと、
ベテラン・中堅・新進の研
究者が参画し、各話の前
に、概説・特色・出典等々を記した「解説」を
付し、末尾には懇切な訳注を付した決定版!



ここに一狂客あり、三百余首の謳歌を編み、
名づけて閑吟集といふ

室町時代から戦国時代へかけて、
世の中がおもしろく動いた。
演劇もおもしろくなった。
田楽から能へ。
この時代に生まれた男が糾(ただす)の森へ
能を見に行く。
見た能に魅癡されて、小歌をもつする。
あるいはかれの創作が能の台詞作りを
共有したこともあったか。
その辺の消息、
ゾクゾクするほどおもしろい。
(未完のままがきこより)

日本の中世の秋の歌 『閑吟集』を読む

四六判上下巻各380ページ/本体各2,500円+税
978-4-86582-038-6(上) 978-4-86582-039-3(下)

西洋中世史学の泰斗が、晩年の十数年、その知性を傾注し
続けたのが室町歌謡集『閑吟集』への注釈でした。『万葉
集』、『古今集』、『源氏物語』、『枕草子』をはじめとする古典
文学の深い森を縦横に逍遙しながら、(日本の中世の秋)
の世界に私たちをいざないます。
まるで重力から解放されたかのように自在に古典の世界を
往還する碩学の名人芸、存分にご堪能あれ!

カンタベリ物語 共同新訳版 The Canterbury Tales

ジェフリー・チョーサー [著] 池上忠弘 [監訳]
瀬谷幸男・唐澤一友・堀田隆一・狩野晃一・
福田一貴・和治元義博・杉藤久志 [編訳]
四六判各550ページ/本体予価各4,000円+税
(上)978-4-86582-042-3 (下)978-4-86582-043-0

[著] ジェフリー・チョーサー Geoffrey Chaucer (1340頃～1400)
イングランド最大の詩人の一人。ロンドンのワイン商の家に生まれ、
官吏として宮廷で活躍。作品は日常言語である英語で書かれ、数世紀
にわたり版を重ねている。代表作『カンタベリ物語』は、巡礼の道中
の退屈しのぎに騎士や修道士、料理人など当時のほぼ全ての階層の
人々が順に物語り、中世イングランド社会の諸相が伝わる。14世紀後
半は支配層の公式言語フランス語に対し自国語である英語が次第に優
勢となり、ベスト流行後にロンドンの都市化が加速してイースト・
ミッドランド方言が現代英語の母体となった。

西洋中世の色彩論の原点、初
邦訳。古代から中世にいたる色
の使い方の歴史的経緯と、色
にこめられた象徴的な意味合
いを集大成。フランス、イタリア
で版を重ね、人文主義者たちに
影響を与えた(隠れたベストセ
ラー)。オンデマンド版で再刊!



オンデマンド版 色彩の紋章

シンシル [著] 徳井淑子・伊藤亜紀 [訳・解説]
四六判226ページ/本体4,500円+税 978-4-86582-044-9

お名前
お電話番号
ご住所 (お届け先)
〒

日本の中世の秋の歌『閑吟集』を読む
四六判上下巻各380ページ/本体各2,500円+税
(上)978-4-86582-038-6 (下)978-4-86582-039-3
部
カンタベリ物語 共同新訳版
四六判各550ページ/本体予価各4,000円+税
(上)978-4-86582-042-3 (下)978-4-86582-043-0
部
オンデマンド版 色彩の紋章
四六判226ページ/本体4,500円+税
978-4-86582-044-9
部

書店番線印
ご担当者様



〒113-0033 東京都文京区本郷 3-37-3-303
http://www.yushokan.co.jp/ TEL 03-3812-6504

FAX 03-3812-7504